

平成25年度 学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- ①高校3年間のしっかりとした基盤作りのため、新入生における導入期指導の徹底を図る。
 ②生活=学習。生徒指導を全ての指導の根幹に据え、基本的生活習慣の徹底を図る。
 ③指導と評価の一体化に取り組むとともに、教師一人ひとりが授業力の向上を目指す。
 ④家庭学習時間の十分な確保を指導し、学力の伸長と実力の養成を図る。
 ⑤生徒が生徒会活動、学校行事、部活動に積極的に取り組み、活気ある学校生活の実現を図る。
 ⑥開校30周年を迎え、さらなる開かれた学校作りに取り組む。
 ⑦学校の課題を検討し、学校業務の精選・見直しを行う。

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 家庭学習の充実について	B	各教科で課題を課すなどして時間確保を狙っているが、なかなか改善しない。進路行事や授業、集会等の機会をとらえて、家庭学習の意義を生徒に伝えたい。	B	A
	② 教員の授業力の向上・生徒の学力向上について	B	現在実施している教員の研究授業を継続する一方で、生徒のための土曜学習の工夫が今後必要となる。	B	A
	③ カリキュラムについて	A	本校の将来を見据え、各部・各教科・各学年が連携し、継続的に総合的な判断で検討していきたい。	A	A
学校関係者評価者による意見	新しい学習指導要領の「言語活動の充実」と「理数教育の充実」の2つの柱を今後どのように現場において実現を図っていくかが重要であると感じます。高校での指導をよろしく願います。				
生徒指導	① 服装・頭髪の指導について	A	服装頭髪の違反はほとんど見られなくなったが、スカートの丈については全体の共通理解を図り取り組む必要がある。	A	A
	② 登下校時の安全指導について	B	自転車の事故をなかなか減らすことができず、対策に苦慮した。特に、対車の事故においては道路環境の改善が待たれるが、地域の協力を得て指導していきたい。	A	A
学校関係者評価委員会による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会では、小中学生対象の交通指導は、交通誘導員がついているが、高校生対象の指導も検討し協力していきたい。 ・ほとんどの生徒がSNSを活用している現状を踏まえた、利用法などについての指導が必要なのではないかと思えます。 				
進路指導	① 資料の整備と活用、進路学習室の活用について	B	学習室の利用については概ね良好である。また進路指導資料については今後もより継続的活用を図れるように整備していきたい。	B	A
	② 生徒の学力・個性・適正の把握と進路目標の早期決定の指導について	B	25年度より3年間、県の「進学支援校」に指定されたことを踏まえて、種々の進路関係行事の充実を図っていきたい。	A	A
学校関係者評価者による意見	様々な改善の方策を取っているので素晴らしい評価ができる。学習室の他にも暑い夏には教室に扇風機を用意するなど学習環境の改善に努めてほしい。				
学校行事	① 学校行事の意義の理解とそれに参加する態度の涵養について	B	生徒の行事に取り組む姿勢、意欲を引き出すために、より各行事の目的の周知・徹底を図り、生徒の活発な活動を目指したいと考える。	A	A
学校関係者評価者による意見	全体的にとってもバランスよく整っていると感じています。日本を引っ張る人材の育成に期待しています。				

環境美化	① 学校環境の整備・美化・緑化の推進について	B	環境美化においては、委員会のさらなる活用、部員によるチェック、監督の先生方との連携強化を図り、より快適な学校環境づくりに今後も邁進したい。	B	A
学校関係者評価者による意見	AEDの新たな設置も果たしたようだが、地区社協で実施しているAED講習会に館山高の生徒にもぜひ参加して欲しい。				
教育相談	① 教育相談活動について	A	教育相談の充実のため、細やかな対応、相談室だよりの増刷による広報活動の推進等を強化し、生徒・保護者により開かれた、身近な存在としたい。	A	A
学校関係者評価者による意見	・カウンセラーの認知度が低いのが残念。講話などの形で生徒とカウンセラーが顔を合わせる機会を増やしてほしい。・具体的ないじめはないがクラスになじめない生徒がいたり、ネット上での中傷があったりしたようなので、先生方にはよく注意し生徒を見守ってほしい。				
特色ある学校づくり	① 「館山タイム」の活用について	B	卒業生からもよい評価を受けている。分量や担当教員割り当て回数など改善すべきところは改善して、生徒の読み取る力を更に身に付けさせたい。	A	A
	② 図書委員会活動の活性化について	A	図書委員が、全国読書週間のあわせて、本のクイズ等の催しを行ったが、多くの参加者があった。今後も委員会の活動を活発に行いたい。	A	A
学校関係者評価者による意見	・図書多読賞の取組に感心した。部活動など学業以外の取組も活発に行い、バランス良く成長する人間を育ててほしい。 ・現在検討中の「アメリカ研修旅行」を推進して生徒が異文化理解につとめ、自己の成長につなげる指導をして下さい。				
防災教育	防災計画に基づいた安心安全な学校環境づくりについて	A	防災計画は毎年見直し、県からの指示事項も含め現状に応じたマニュアルを整備していきたい。	A	A
学校関係者評価者による意見	学校で防災マニュアルの作成や防災訓練を実施しているようだが、ぜひ地域との防災訓練参加も検討して下さい。				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 特色ある学校づくり	「アメリカ研修旅行」を実施し、学校の活性化を図りたい。
③ いじめ防止対策	スクールカウンセラーにいじめ防止対策委員会に参加していただき、いじめの発生防止に取り組む。
④ 活気のある学校生活の実現	本校は「進学重点支援校」「親になるための教育事業」の指定を受けている。しっかりとした学習指導に加え、立派な社会人の育成を目指し、外部講師の活用などで充実した成果を上げる。